

NEWS

誰がいつ
決めた

鷺沼駅前再開発

No.1 2021年1月25日発行
鷺沼駅前再開発を考える会
連絡先 藤田 宏
☎090-6034-7686
〔部内資料〕

鷺沼駅前再開発事業計画が遅延

東急側と交渉

現宮前区役所を存続し、鷺沼駅前再開発を考える会は1月14日、鷺沼駅前再開発組合と交渉しました。

このなかでは、鷺沼駅前再開発組合（東急）側が、国交省の指針「新型コロナウイルス危機を契機としたまちづくりの方向性」にもとづいて、①オープンスペースの確保、②職住近接ニーズに対応した施設計画と機能の拡充をする必要があることから、これまでの計画の見直すを余儀なくされていることが明らかになりました。

それでも、再開発組合側は、これまでの建設計画を根本的に見直す考えはないとしています。

しかし、私たちの運動の側から考えると、コロナ禍

の新しい状況下で、国交省の指針も出て、①鷺沼駅前再開発事業の見直しの必要性が明らかになった、②計画見直し作業による計画遅延は、私たちの運動を発展させる時間的余裕ができた、③オープンスペースの拡大など住民の要求を反映するチャンスが到来した——などなど新たな前進の条件が生まれたといえます。

市も手続きの日程遅延

川崎市も都市計画の手続きを当初の計画通りに進められなくなっています。

昨年8月におこなわれた都市計画決定についての公聴会で出された公述人の意見に対して市の考え方を整理して回答することになっています。昨年12月、市側から公述人に連絡があり

ました。再開発組合が計画見直しをするので、準備組合との協議・調整が必要になり、公聴会で出された意見についての市の考えを取りまとめるのに時間がかかっていると、いうのです。

当初、川崎市が考えた都市計画のスケジュールが予定通りに進められなくなっています。

1万人署名達成を

鷺沼駅前再開発見直しの運動を大きく広げれば、住民の声を反映させる展望が生まれています。

「鷺沼駅前再開発はもう決まったこと」と考えている方も少なくありません。そうした方々へ、鷺沼駅前再開発の問題点を明らかにし、会の署名「タワマンの見直しをはじめ、宮前区に2つの図書館と市民館、鷺沼に区役所支所の設置を求める」を広げ、目標の1万人を達成しましょう。

鷺沼駅前再開発と風害について

私は大学で2年、会社で36年気象にかかわってきました。2020年8月の説明会に出席して疑問に思ったことがあります。風の影響を過小評価している点です。

地上50～600mの摩擦層では、風下に建物高度×10倍の地域に影響があるという学説がありますが、2～3倍しか考慮されていないこと。146mと92mの建物が建てば、その間を流れる風はベンチレー効果で風速が50%以上増し、影響域は10倍以上となり、1000mの自由大気層（対流圏）とほぼ同じとなります。冬季25KT（13m/s）以上の風が富士山頂で吹けば、約100km離れた羽田にも影響します。

大地震が起き、この建物があれば、風速によっては、日本精工グラウンドやカッパークをヘリパッドとして利用できなくなり、緊急物資の搬送に支障がでます。

また、田園都市線の線路部分が窪地となり、10m/s以上の風では渦が発生し、風害の影響域が拡大します。米国デンバー空港の横風による事故後の調査で判明しており、窪地をうめることにより同種の事故は無くなりました。

高さを半分にするれば、ほぼ接地層の高さとなり、風害はだいぶ緩和されると思われます。（F）

投稿を歓迎します

鷺沼駅前再開発に関わって川崎市や再開発組合に対す

る意見や要望など、住民の声の投稿を歓迎します。字数は500字程度です。

「考える会」事務局の藤田宛連絡ください。（匿名可）

☎090-6034-7686